



大野北公民館 利用協通信

第33回公民館まつり特集

平成26年7月4~6日

最高の人出・・・！

利用協会長（まつり副実行委員長） 安達和夫

今年は子供まつり事業を統合して実施したこともあり、推定約4500人の記録的な来場者となりました。また新たな企画委員も多数参加頂き、天候にも恵まれ（暑さをほとんど感じなかった！）充実した、楽しいまつりになりました。

また今回は、特に準備作業の負担軽減をはかるよう進め、一定の効果は得られました。しかし伝統ある利用者主体の大野北公民館まつりを継承していくためには、更なる負担軽減がポイントになると考えます。若い学生諸君の参加も大きな力になりましたが、若い世代の公民館利用者にもスタッフとして参加して貰えるよう努めて参ります。



開会式直後に始まった、「いきいき健康体操」。そろいのTシャツが健康への意気込みを感じさせます。

大勢の方が参加されました。



「まつりでも学習会！！」

学習部会担当 猪口 敦子

「公民館まつりで学習会をやるんですね。びっくりしました。」・・他地区からの来訪者にプログラムを渡すと口々に言われた。

ずっとまつりでも「学習会」を位置づけてやってきた私達学習部会にとってその言葉はある意味新鮮だった。日頃の活動の地域還元でもあるのだから・・・と。

今年は「おやのカイゴ、じぶんのカクゴ」と題して誰もが直面する介護について企画をした。ただ聞くだけの受け身ではない場を作ろうと話し合い、立場、課題の異なる4人の体験談、介護クイズ、専門家による助言、ミニ講座とした。参加者からは「生の体験談がすごく身にしみた」「全体の構成が良く出来ていた」

「体験談、支援センターの方の話（介護サービス）も良かった」「これからの人生を考えるヒントをもらった」などなど大変好評の声が届いた。

これからも課題を見据えてやっていかねば・・・と心新たに、公民館の場で企画する意味を改めて考えています。



「屋外事業」は盛況でした

屋外事業 担当 榎並 隆男

今年は猛暑に襲われもせず、土曜日が雨降りだったにもかかわらず、多くのサークルの参加と昨年よりはるかに大勢の来場者にと支えられて、公民館まつりの屋外部門は連日、盛況でした。

模擬店では、ポップコーン・綿菓子・かき氷・フランク・焼き鳥・焼きそば・チキンソーセージグリルが提供され、また、バザー2店舗も賑わいました。

例年は別途に開催している子どもまつりを含めた公民館まつりだったので、来客児童を意識してのゲームコーナーも設けて、楽しんで貰いました。参加サークルで力を合せ、職員方のサポート宜しきを得て、無事に実施出来てホッと、です。



共和中のブラスバンドです。

1年生は初ステージとなりました。



桜風エイサー琉球風車の力づよい踊りは公民館まつりには欠かせない存在です。



青少年指導員地区協議会による焼きそば、かき氷の販売です。大勢の小中学生、大学生が立ち寄ってくれました。

音楽のつどい

音楽のつどい担当 今野 緑

今年はステージマネジャーらしき役割の人をつけて音楽のつどいを進行させました。お客様に楽しんでいただけたと思います。

健康ピアノサークルさんが頭の体操で、客席も参加して、体と頭をリフレッシュさせていただきました。

音楽は「ぼけ」防止に役立ちます。歌を唄ったり、楽器を演奏したりしてこれからの人生を楽しんでほしいですね！

今年は各サークルからの要望により出演前にリハーサルを行いました。反省するところもありましたが来年はもっと良いステージが出来るよう各サークルの方と話し合っってステージを作りたいです。

来年も多くの音楽サークルが出演して日ごろの練習の成果を見せて欲しいです。



大盛況！！キッズコーナー

キッズコーナー担当 柴田 孝子

公民館と隣のあさひ児童館を借りて3会場で行いました。

マジックショー・折り紙・鉢カバーづくり・木端細工・紙芝居・さかな釣り・囲碁教室・理科実験コーナー・豆つかみ、館の外では模擬店と多くの方にかかわっていただき、盛りだくさんのキッズコーナーでした。

木端細工では「こんなのやりたかったんだ」という声とともに大きな作品を作る子どももいました。

実験コーナーでは不思議そうに見つめていた子どもたち。

午前中だけでは遊び足りないという声も多くきかれました。事故もなく大盛況で終わりました。



公民館まつりに参加して

ゆうゆう押し花 梶 広子

忙しかった！疲れたね！でも楽しかったね！

私達のサークル仲間全員の感想です。

「ゆったり、ゆっくり生涯学習」をモットーに押し花を楽しんでいます。

日ごろの成果を見ていただくことと押し花を知っていただく公民館まつりは私達の一大イベントです。

今年は一部屋に展示と体験会を兼ねての参加でした。

毎年震災地への寄付を含めての体験会をさせていただいております。今回も一枚百円のはがき作

りを二日間行いました。（実際には三日間になりました。）

「毎年楽しみにしてきました。」「二枚作っていいですか。」「おばあちゃんに出そう！お小遣い下さい」って書いた子どももいました。

見ているだけでも楽しい体験会を来年はいろいろなサークルの参加があると嬉しいです。

最後に実行委員の方々のご苦勞に感謝して、来年も楽しい公民館まつりに参加したいと思います。ありがとうございました。



この写真は「押し花ゆうゆう」さんによる親子押し花の風景です。大人気でした。



金曜日に行われた「ママと遊ぼう会」の様子です。あいにくの天気でしたが大勢のママとちびっこが公民館デビューしました。

熱い！暑い！美味しい！！

料理部会 うどん処担当 大野みどり

暑い中、毎年楽しみにしているからと、うどん処を開店いたしました。

始まる前は手伝っていただける方の高齢化や暑いときに熱いものはどうか、衛生的に安全か、当日だけで準備できるか、省略出来るところ、出来ないところはどこかなど不安や意見を出し合いました。

一番大切な汁は男性が料理を楽しむ会が中心となって作りました。この会も高齢化のため是非若い方の参加をお願いします。今回は若い方の応援もあり無事に250食以上売り切りました。

お客様は「美味しかった」「つゆが美味しい」と綺麗に食べていただきました。



みなさんに食べていただいている写真がないので当日のうどんです。美味しそうですね！



フォークダンスは自分たちの練習の成果を見せるとともに「一緒に踊りましょう」のコーナーでは簡単なステップを教えて、見ている方も参加することができ皆さん楽しんでいました。



各展示室では力作が勢ぞろい。日ごろの成果を見ていただきました。



「これいくらかになるの?」「お安くしますよ」「もってけドロボー」なんてバザーは大賑わい!!



大震災義援金、有難うございました!

4回目の義援金募集を行い、総額 23,030 円の募金を頂くことが出来ました。この中に青少指、家庭倫理の会、利用協からバザー売り上げの一部をご提供頂いたものが含まれています。この募金は相模原市の姉妹都市でもある大船渡市へ義援金としてお届けいたしました。(まつり実行委員会)

利用協バザー、ご協力感謝!

皆さまから物品をご提供頂き、総額 54,630 円の収益をあげることが出来ました。うち 5,000 円は大震災義援金に拠出し、残額は利用協の運営資金として活用させて頂きます。有難うございました。(利用サークル協議会)